

#0 伏線(2023年8月21日)

構成を作るメリット

- ①全体を俯瞰できる
- ②内容を深掘りできる
- ③効率よく文章を書ける
- ④書く内容が決まっている
- ⑤複数の投稿へ横展開できる

それぞれのメリットについて説明します。

①全体を俯瞰できる

構成があることで「何をどの順番で書くか」が明確になります。

構成を作り終えたら全体像がわかりますので、「論理が飛躍していないか」や「順番を入れ替えたほうがわかりやすいか」という視点で確認できます。

この確認こそが「全体を俯瞰している」状態です。

②内容を深掘りできる

構成を作ることで「どこまで詳しく語るか」を決めることができます。

たとえば

- ・反論処理を加えて読み手の不安を払拭する
- ・具体例を交えて読み手のイメージ力を促す

といった具合です。

長文(またはスレッド形式)のポストを作る際に有効です。

③効率よく文章を書ける

構成があれば、あとはその内容に沿って書くだけ。ゼロから書こうとすると、内容を決めるところから始まります。

よって、何にもないところから書くときと比べて、効率はアップします。

④書く内容が決まっている

構成に沿って書いただけなので、「どうしよう...書くことがない」と迷うことはありません。

いざ文章を書こうとすると書くことがなくて困るという方にこそ、構成作りを試していただきたいです。

⑤複数の投稿へ横展開できる

1つのテーマに対して、数日にわたって投稿することもできます。

たとえば「文章添削のコツ」というテーマで投稿を作るとし、次の3つのコツがあるとします。

- ① 解釈は1通りになっているか
- ② 主張は1つに絞れているか
- ③ 論理の飛躍は見られるか

これを「1日1つ解説」していくなら、こんな感じの構成とすることができます。

1日目:3つのコツを提示
2日目:1つ目のコツ解説
3日目:2つ目のコツ解説
4日目:3つ目のコツ解説
5日目:まとめとして図解

つまり「構成を作る」には「1つの投稿に対する構成」もさることながら「複数にまたがる投稿に対する構成」も含まれます。

いかがでしたか？

何もないところから始めるよりも、早く文章を書けるので、ぜひ構成作りを試してみてください。

まずは1週間から。オススメです。

#1 導入(2023年8月22日)

伝わる文章とは？ひとことで言うなら「わかりやすい文章」です。なぜだと思いませんか？わかりやすい文章は、読み手のなかにスッと入ります。それだけじゃありません。読み手の腑に落ちる文章ともいえます。これこそが『読み手に伝わった瞬間』なんです。だから伝わる文章とはわかりやすい文章なんです。

#2 本論①(2023年8月23日)

「伝わる文章」を書くコツ。1つ目は『対象を明確にする』です。文章の解釈は読み手によって変わるもの。だから「あなたが対象としている人に伝わること」だけを考えて文章を書いてほしい。その前提としてあるのが『誰に届けるか』なんです。ここがクリアになれば、あとはその人に向けて書くだけです。

#3 本論②(2023年8月24日)

「伝わる文章」を書くコツ。2つ目は『主張を1つに絞る』です。情報を多く詰め込むと、あなたが伝えたいことが読み手に伝わりません。よって、内容は『最も伝えたいこと(主張)』と『それを支える情報(理由や事例)』に絞ってください。主張と関係ないことは別の機会に書くくらいの割り切りが必要です。

#4 本論③(2023年8月25日)

「伝わる文章」を書くコツ。3つ目は『適切な位置に読点を打つ』です。大前提として、読点は「大きな意味の切れ目」に打ちます。打つ位置を間違えると誤読を招く恐れがあります。つまり、あなたの意図と読み手の解釈が異なる恐れがあります。これでは「伝わる文章」になりません。次の例文をご覧ください

①あわてて、逃げる泥棒を追いかけた。

②あわてて逃げる泥棒を追いかけた。

①は「あわてて、」となっています。この文に主語を補足します。こんな感じです。

(私は)あわてて、逃げる泥棒を追いかけた。

主語を補足することで、あわてているのは私(=書き手)であることがわかります。

②はどうでしょうか。主語を補足すると、こうなります。

(私は)あわてて逃げる泥棒を追いかけた。

この文には読点がありません。そのため2つの解釈が成り立ちます。

1つは「あわてているのは私」という解釈です。

この場合、「あわてて」は「追いかけた」を修飾します。泥棒を追いかけたのは私なので、あわてているのは私となります。

もう1つは「あわてているのは泥棒」という解釈です。

この場合、「あわてて」は「逃げる」を修飾します。逃げたのは泥棒なので、あわてているのは泥棒となります。

このように2つの解釈が成立する場合、書き手の意図と読み手の解釈が一致しない可能性があります。

以上のことから「適切な位置に読点を打つ」ことは、「伝わる文章」を書くうえで重要といえます。

#5 本論④(2023年8月26日)

「伝わる文章を書くコツ。4つ目は『不要な接続詞を落とす』です。接続詞を使うと、読み手は次の文の流れを推測できますが、接続詞が不要なケースもあります。接続詞の種類とあわせてご確認ください。

Let's Study!

「接続詞」はどう使う?

今回は「接続詞」についてお話しします!

説明できますか? 接続詞とは

接続詞とは・・・
 文節と文節をつなぐ役割を持つ言葉のことです。
 物事を順序よく説明するときなど、
 文章を読みやすくするために用いられる言葉です。

次のページでは接続詞の種類をご紹介します!

意外とある! 接続詞の種類

種類	説明	主な例
順接	物事を順序よく説明するときに使う	だから、それで、すると
逆説	伝えたことと逆のことを説明するときに使う	だが、しかし、とはいえ
累加	追加で何かを説明するときに使う	さらに、そのうえ、しかも
並列	複数の物事を並べて説明するときに使う	および、ならびに、それから
要約	説明した物事についてまとめるときに使う	つまり、なぜなら、すなわち
転換	文章のなかで話題を変えるときに使う	ところで、さて、では

ここがポイント 不要な接続詞とは

接続詞は、次の3つに分類できます。

不要な接続詞	必要な接続詞	残すほうが良い接続詞
「順接」	「逆接」	「順接」「逆接」以外

逆接→「それまでとは逆の話が始まる」サインにつき必要
 順接・逆接以外→残すことで、読み手は「次の文の展開」を
 予測できることから残すほうが良い

#6 結論①(2023年8月27日)

【ブックマ推奨】「伝わる文章」を書くコツ

ここ数日の朝ポストでお伝えしてきたことを図解にまとめました。おさらいにお役立てください。

Let's Check! 「伝わる文章」を書くコツ 	本質はこれ! 「伝わる文章」とは? 伝わる文章とは、ズバリ! わかりやすい文章 ……です! わかりやすい文章は、読み手のなかにスッと入ります。 言い換えると、読み手の腑に落ちる文章ともいえます。 これこそが『読み手に伝わった瞬間』です。 1 2 だから… 伝わる文章=わかりやすい文章 なんです
コツは4つ 「伝わる文章」を書くコツ ① 対象を明確にする 文章の解釈は読み手によって変わります。 だから「あなたが対象としている人に伝えること」だけを考えた文章を書けばOK。 その前提が『誰に届けるか』であり、ここがクリアになれば、あとはその人に向けて書くだけです。 ② 主張を1つに絞る 情報を多く詰め込むと、あなたが伝えたいことが読み手に伝わりません。 内容は『最も伝えたいこと(主張)』と『それを支える情報(理由や事例)』に絞ります。 主張と関係ないことは別の機会に書くくらいの割り切りが必要です。	3 4 コツは4つ 「伝わる文章」を書くコツ ③ 適切な位置に読点を打つ 大前提として、読点は「大きな意味の切れ目」に打ちます。 打つ位置を間違えると、誤読を招く恐れがあります。つまり、あなたの意図と読み手の解釈が異なる恐れがあります。 これでは「伝わる文章」にならないのでご注意ください。 ④ 不要な接続詞は落とす 接続詞には ・不要な接続詞 ・必要な接続詞 ・残すほうが良い接続詞 ……があります。 不要な接続詞は「順接」の接続詞です。 具体的には「だから、それで、すると」です。 これらは削除してよい接続詞です。

#7 結論②(2023年8月28日)

種あかし。1週間前『構成を作るメリット』をお伝えしました。実はこの1週間のポストは、構成をもとに作りました。もちろんこのポストも。全部で8つ。複数の投稿に分けて「伝わる文章」についてお伝えしてきました。これが『複数の投稿へ横展開できる』です。この視点で一連のポストを再度ご覧ください。

種あかしポストの下に、リポストでそれまでのポストを並べてタイムラインを整える



めぐみ  @megumi_mind · 8月28日

種あかし。1週間前『構成を作るメリット』をお伝えしました。実はこの1週間のポストは、構成をもとに作りました。もちろんこのポストも。全部で8つ。複数の投稿に分けて「伝わる文章」についてお伝えしてきました。これが『複数の投稿へ横展開できる』です。この視点で一連のポストを再度ご覧ください

23 13 129 3,182

あなたがリポストしました



めぐみ  @megumi_mind · 8月21日

構成を作るメリット

- ①全体を俯瞰できる
- ②内容を深掘りできる
- ③効率よく文章を書ける
- ④書く内容が決まっている
- ⑤複数の投稿へ横展開できる

それぞれのメリットについて説明します。... [さらに表示](#)

25 14 110 3,839

あなたがリポストしました



めぐみ  @megumi_mind · 8月22日

伝わる文章とは？ひとことで言うなら「わかりやすい文章」です。なぜだと思いませんか？わかりやすい文章は、読み手のなかにスッと入ります。それだけじゃありません。読み手の腑に落ちる文章ともいえます。これこそが『読み手に伝わった瞬間』なんです。だから伝わる文章とはわかりやすい文章なんです。

31 13 133 2,738

あなたがリポストしました



めぐみ @megumi_mind · 8月23日

...

「伝わる文章」を書くコツ。1つ目は『対象を明確にする』です。文章の解釈は読み手によって変わるもの。だから「あなたが対象としている人に伝わること」だけを考えて文章を書いてほしい。その前提としてあるのが『誰に届けるか』なんです。ここがクリアになれば、あとはその人に向けて書くだけです。

💬 28

🔄 15

♡ 175

📊 6,371



あなたがリポストしました



めぐみ @megumi_mind · 8月24日

...

「伝わる文章」を書くコツ。2つ目は『主張を1つに絞る』です。情報を多く詰め込むと、あなたが伝えたいことが読み手に伝わりません。よって、内容は『最も伝えたいこと（主張）』と『それを支える情報（理由や事例）』に絞ってください。主張と関係ないことは別の機会に書くくらいの割り切りが必要です

💬 30

🔄 13

♡ 145

📊 3,136



あなたがリポストしました



めぐみ @megumi_mind · 8月25日 ·

...

「伝わる文章」を書くコツ。3つ目は『適切な位置に読点を打つ』です。大前提として、読点は「大きな意味の切れ目」に打ちます。打つ位置を間違えると誤読を招く恐れがあります。つまり、あなたの意図と読み手の解釈が異なる恐れがあります。これでは「伝わる文章」になりません。次の例文をご覧ください... [さらに表示](#)

💬 31

🔄 15

♡ 145

📊 3,966



あなたがリポストしました

めぐみ @megumi_mind · 8月26日

「伝わる文章」を書くコツ。4つ目は『不要な接続詞を落とす』です。接続詞を使うと、読み手は次の文の流れを推測できますが、接続詞が不要なケースもあります。接続詞の種類とあわせてご確認ください。

Let's Study!

「接続詞」はどう使う？

今回は「接続詞」についてお話しします！

説明できますか？ 接続詞とは

接続詞とは…

文節と文節をつなぐ役割を持つ言葉のことです。

物事を順序よく説明するときなど、文章を読みやすくするために用いられる言葉です。

次のページでは接続詞の種類をご紹介します！

意外とある！ 接続詞の種類

種類	説明	主な例
順接	物事を順序よく説明するときに使う	だから、それで、すると
逆接	伝えたことと逆のことを説明するときに使う	だが、しかし、とはいえ
累加	追加で何かを説明するときに使う	さらに、そのうえ、しかも
並列	複数の物事を並べて説明するときに使う	および、ならびに、それから
要約	説明した物事についてまとめるときに使う	つまり、なぜなら、すなわち
転接	文章のなかで話題を変えるときに使う	ところで、さて、では

ここがポイント 不要な接続詞とは

接続詞は、次の3つに分類できます。

不要な接続詞 必要な接続詞 残すほうが良い接続詞

「順接」 「逆接」 「順接」「逆接」以外

逆接→「それまでとは逆の話が始まる」サインにつき必要
順接・逆接以外→残すことで、読み手は「次の文の展開」を予測できることから残すほうが良い

あなたがリポストしました

めぐみ @megumi_mind · 8月27日

【ブックマ推奨】「伝わる文章」を書くコツ

ここ数日の朝のポストでお伝えしてきたことを図解にまとめました。おさらいにお役立てください。

Let's Check!

「伝わる文章」を書くコツ

本質はこれ！ 「伝わる文章」とは？

伝わる文章とは、ズバリ！

わかりやすい文章 …です！

わかりやすい文章は、読み手のなかにスッと入ります。言い換えると、読み手の腑に落ちる文章ともいえます。これこそが「読み手に伝わった瞬間」です。

だから… 伝わる文章＝わかりやすい文章 なんです

コツは4つ 「伝わる文章」を書くコツ

① 対象を明確にする

文章の解釈は読み手によって変わります。だから「あなたが対象としている人に伝わること」だけを考えた文章を書けばOK。その前提が『誰に届けるか』であり、ここがクリアになれば、あとはその人に向けて書くだけです。

② 主張を1つに絞る

情報を多く詰め込むと、あなたが伝えたいことが読み手に伝わりません。内容は『最も伝えたいこと（主張）』と『それを変える情報（理由や事例）』に絞ります。主張と関係ないことは別の機会に書くくらいの割り切りが必要です。

コツは4つ 「伝わる文章」を書くコツ

③ 適切な位置に読点を打つ

大前提として、読点は「大きな意味の切れ目」に打ちます。打つ位置を間違えると、読点を招く恐れがあります。つまり、あなたの意図と読み手の解釈が異なる恐れがあります。これでは「伝わる文章」にならないのでご注意ください。

④ 不要な接続詞は落とす

接続詞には

- ・不要な接続詞
- ・必要な接続詞
- ・残すほうが良い接続詞 …があります。

不要な接続詞は「順接」の接続詞です。具体的には「だから、それで、すると」です。これらは削除してよい接続詞です。